

第6次高浜市総合計画推進会議より 「前期基本計画の総括」が提出されました

平成23年度からスタートした「第6次高浜市総合計画」。前期基本計画(平成23～25年度)の満了にともない、前期の3年間で市民と行政が力を合わせてどのような取組みを進めてきたのか、どんな成果・課題があったのかを振り返り、今後の市政運営に活かしていくため、計画のスタート以来、その進み具合を市民目線で見守り続けてきた「総合計画推進会議」(学識経験者・市民・副市長の12人で構成)とともに、前期基本計画の総括をとりまとめてきました。

8月26日開催の第3回会議では、中川幾郎会長(帝塚山大学名誉教授)から吉岡市長へ、委員からの熱いメッセージとともに、総括の冊子が手渡されました。

第6次高浜市総合計画推進



前期3年間の想いを、中期基本計画(平成26～29年度)へとつなげていくために ～委員からの主なメッセージ～

「みんなで目指すまちづくり指標」の実績値が、全国的に全国とくらべて良好である。今後も慢心することなく、数値向上に向けて努力してほしい。



若いお母さんたちはさまざまな不安を抱えているが、福祉まるごと相談グループや子ども発達センターが設置され、受け止める仕組みがとても充実してきたと感じている。



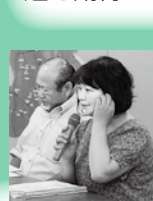
少子化・高齢化の進展によって、財政はいずれ縮小せざるをえず「選択と集中」が求められる。そのためには、行政も生産性を高める努力が必要だが、住民自治もしっかりとしていなければならない。行政と住民とがともに手を携えながら、難局を乗り越えていくことが大切である。



税収確保の面からも、関係者と連携して、工場用地の創出や企業誘致に積極的に取り組んでいただきたい。



趣味・余暇学習型の生涯学習から脱し、高浜市を愛し、地域コミュニティを支える人材育成につながる生涯学習の推進を期待している。



親が安心して子育てをしやすい環境を整えていくことは、若い世代の定住を促す意味でも大切な取組みである。“高浜市らしさ”を活かしながら、これまで培ってきた子育て支援体制を、さらに強化していただきたい。



「総括」の提出を受けて ～吉岡市長より～

委員の皆さまには、3年半もの長きにわたり、前期基本計画の推進から総括まで熱心に取り組んでいただき、本当にありがとうございました。

私たち行政は、市民の皆さんの想いに応えていくことが求められています。「応える」とは何か。それは、誰かの身の回りにおこっていることに対して、自らが動くということです。そのためには、他者を思いやる心や、支えていこうとする心がなければできません。「高浜市をどうしていくか」を考えていくとき「1人称で考える」、つまり「まず自分がどうするか」が大切であり、それが「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の原点であると考えています。

委員の皆さまからの言葉を、しっかりと受け止め、中期基本計画を進めてまいります。

◆会議のようすや取組みに関する詳しい内容は、高浜市公式ホームページ
<http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/seisaku> をご覧ください!!



問合せ先 総合政策グループ ☎ 52-1111 (内線365)